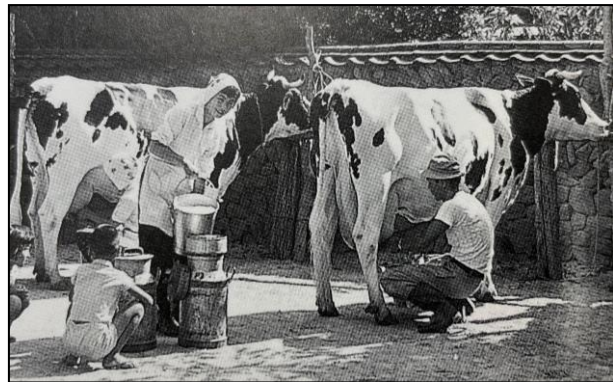


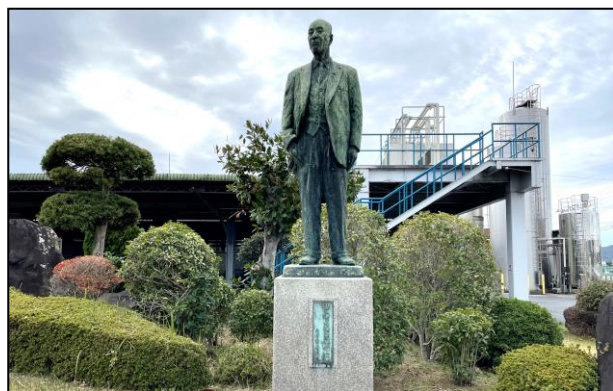
淡路島の酪農の歴史

1900年、淡路島に初めてホルスタイン種の子牛がやってきました。これは北海道・岩手・千葉に次ぎ、西日本では初めてのことでした。



手しぼり時代の乳しぼり風景

“淡路島をホルスタインの島に”という田中萬米氏の思いを胸に乳質の改良に取り組み、多くの乳牛をカナダやアメリカから輸入しました。その後も、酪農家の思いや関係者の熱意によって、淡路島の乳牛は乳質や体格がととても良くなりました。



田中萬米氏の銅像

この乳牛の子孫が淡路島の豊かな自然で育ち、今の淡路島牛乳を作ってくれているのです。



【カーネーション・ファイブスター・ジェネラル号】アメリカから輸入され「元帥号」とも呼ばれました



ミルクマイスター® 高砂

1983年山形県寒河江市生まれ。物心ついた頃から牛乳が好きで、2010年に牛乳雑貨店「ケビンミルク」を開店。世界中の牛乳を探索しつつ、オススメの牛乳や、牛乳の楽しみ方など、牛乳の魅力を広める牛乳マニアとして活動中。ミ道、ミルクのケビン監督。